

令和2年度

# 事業報告

公益財団法人 瀬戸市文化振興財団

# 目 次

I. 事業概要	1
II. 事業説明及び事業実績	
1. 文化施設を活用して、市民が文化芸術に触れる機会と場を提供する事業 (公益目的事業1)	6
2. 市民の主体的な文化芸術活動を支援し奨励する事業 (公益目的事業2)	15
3. 文化財に関する調査・研究及び情報提供を行う事業 (公益目的事業3)	19
4. 公益目的事業の推進に資するために行う事業 (収益事業1)	22
III. 庶務の概要	23
IV. 付属明細書	26

## I. 事業概要

当財団は、令和2年度事業の実施にあたり、公益財団法人として公正な事業運営に努めるとともに、市民をはじめ多くの方に親しまれ、満足いただける文化振興事業の展開に尽力してまいりました。

その一方で、国や市からの補助金を受けて事業を実施する法人として、財務状況の分析を的確に行い、効率的な経営に努めるとともに、受益者負担による自主財源の確保にも積極的に取り組み、安定的かつ持続的な財団運営に努めているところであります。

また、これまで瀬戸市の文化行政と目的を共有した事業展開を図り、文化芸術振興と文化財保護の一翼として、「やきもの」を基軸とした文化を育むまちづくりに寄与してまいりました。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため予定していた多くの事業が中止になりました。しかしながら、感染症対策に十分配慮した上で「ソーシャルディスタンス・ステージ」や「JazzJazz つなぎ」等の事業や美術鑑賞の事業を行い、市民の皆さんが文化芸術を身近に感じられる機会を提供いたしました。

### 1. 文化施設を活用して、市民が文化芸術に触れる機会と場を提供する事業 (公益目的事業1)

文化芸術の振興を図るため、瀬戸市の文化施設を活用して様々な分野の鑑賞事業や体験事業などを実施いたしました。そして、市民が身近に文化芸術に触れる場を安定的に確保、提供することにより、ゆとりと潤いが実感できる豊かな市民生活に寄与することを目的に事業を行いました。

#### 【舞台鑑賞の機会を提供する事業】

文化ホール公演事業では、新型コロナウイルス感染症の影響により予定していた多くの事業が中止になりました。

しかし、そうした中でも持続可能な事業とするべく、長久手市文化の家との連携企画として、文化ホール1階席全体を活用し、お客様同士の座席の間隔は前後左右空席とし、安全・安心でゆったりとした贅沢な鑑賞空間を提供するかたちで6月・7月に「ソーシャルディスタンス・ステージ」を開催しました。また、感染症対策として、お客様・出演者・スタッフのマスク着用、入場口における手指消毒、検温、受付での防護フィルム設置、開場時間を1時間に設定、公演終了後の消毒等の対策を徹底してまいりました。

その後も、同様の対策を実施し、同企画の継続、さらには「Jazz Jazz つなぎ」、「いいもんせともんコンサート ホルンのおしごと」を開催しました。

また、新たな文化芸術の提供方法として、動画配信サービス(YouTube)を活用し、「陶壁クラシックちゃんねる」の配信を始めました。それにより、自宅にいながらクラシック音楽の演奏や、アーティストのお話等を楽しんでいただけるようになりました。

### 【美術鑑賞の機会を提供する事業】

美術館では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため昨年度末から5月末まで休館したことに伴い、会期を調整しながら特別企画展、特別展、企画展を開催しました。

そのうち、特別企画展「初期瀬戸染付の謎ー加藤民吉とその時代ー」展は、磁祖 加藤民吉生誕250年プレ事業として開催し、市民の皆様に「享和」「文化」「文政」の銘がある染付焼や尾張印の入った染付焼の作品調査及び展覧会への出品の協力を求めました。特別展では、第3回瀬戸・藤四郎トリエンナーレでグランプリ受賞された塩谷良太氏の個展「塩谷良太展 かたち、かたちのないもの」のほか、「加藤華仙展ーその生涯と創作ー」、「2019-2020 招聘作家作品展」、「堀尾一郎 絵の旅・祈りの旅展」を開催し、陶芸をはじめ多様な作品を来館者にご鑑賞いただきました。

これらの展示に、より関心を持っていただくための関連事業として、ワークショップや北川民次のアトリエ公開などを実施しました。

また、令和2年11月30日から令和3年4月16日まで、外壁耐震工事等のため長期休館し、この間を利用して収蔵品全ての再調査及び収蔵庫の整理を行いました。

新世紀工芸館では、現代陶芸やガラス工芸を扱う施設として、国内外で活躍する若手作家が制作した多彩で創造性に優れた作品を紹介する企画展を開催しました。また、「第17期研修修了生・第18期研修生作品展」では、革新的な陶芸やガラス工芸の作品を広く紹介することができました。交流棟のギャラリーでは、登録作家による陶磁器とガラスを素材とする季節に合わせた多種多様な作品を展示（販売）しました。

瀬戸染付工芸館は、瀬戸染付の技術伝承を目的とする施設として、令和2年度を以って開館20周年となりました。交流棟2階展示室では、江戸時代後期から明治時代の瀬戸染付の優品を紹介する企画展「瀬戸染付ー厳選の逸品ー」及び「瀬戸市収蔵品展」を、本館2階展示室では研修生及び修了生の制作した染付作品の展示などをそれぞれ開催しました。

### 【体験活動の機会を提供する事業】

新世紀工芸館並びに瀬戸染付工芸館では、現代陶芸やガラス工芸のほか、やきものの文化と瀬戸染付の伝統的な技法を紹介するため、各種体験教室を開催しました。新世紀工芸館では、陶芸やガラス工芸に、初心者でも気軽に参加でき、手づくりの魅力を十分に体験できる機会となりました。

また、瀬戸染付工芸館では、初心者から上級者まで幅広い絵付け体験ができ、染付技術の理解と普及に繋がりました。

### 【国際性豊かな芸術文化に触れる機会を提供する事業】

大阪府在住のガラス作家福西 毅氏を招聘し、中国北京市在住のガラス作家杜蒙（ドゥ・モン）氏はオンラインで参加しました。関連イベントとして両氏の公開制作を予定しておりましたが、緊急事態宣言延長のため開催できず、代わりに作家の制作の様子を映像に収め、YouTubeで公開しました。また、両氏が、レ

ジデンス期間中に制作した作品の展覧会を、瀬戸信用金庫アートギャラリーにおいて開催しました。

### 【文化芸術に触れる場の提供を行う事業】

文化ホールや文化交流館を文化芸術に親しむ場として提供し、文化団体等の主体的・創造的な活動を支援しました。

美術館については、令和2年11月30日から令和3年4月16日まで耐震工事のため使用中止となり、さらに新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年3月5日から5月31日まで文化ホールをはじめ全館休館となりました。その後も利用制限が加わったことなどにより、利用者の減少が顕著となりました。

文化ホールでは、令和元年度は耐震工事中であったことから、使用件数が平成30年度と比較し、153件の減少、利用人数は78,180人の減少となりました。

文化交流館では、使用件数が平成30年度と比較し、1,260件の減少、利用者数は81,692人の減少となりました。

また、使用率（使用日数÷使用可能日数）は、文化ホールでは37%で、平成30年度と比較し、35パーセントの減少となりました。文化交流館の会議室等では、平均使用率が40%程度で、平成30年度と比較し、26%減少となりました。今後も、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みながら、適正な管理及び運営に努め、施設利用の促進に努めてまいります。

## 2. 市民の主体的な文化芸術活動を支援し奨励する事業（公益目的事業2）

陶芸やガラス工芸などに関する分野の専門知識、技能を習得する人材育成事業や創作・発表の機会を提供することで、市民の主体的な文化芸術活動を支援奨励し、地域の文化芸術の振興に寄与しました。

### 【人材育成の機会を提供する事業】

新世紀工芸館並びに瀬戸染付工芸館では、次世代を見据えた若手作家の育成と伝統的技術の習得と継承を掲げ、多くの研修生を受け入れてきました。研修施設では、自由な創作活動の場として、研修生が自ら選んだ課題に取り組み、外部講師や地元作家の指導や助言を受けつつ、主体的で独創的な制作活動ができるよう支援してきました。

令和2年度の研修生については、新世紀工芸館陶芸コースで3人、染付工芸館で2人を受け入れました。今後も、施設のPR強化を図るとともに魅力ある研修機関として、さらに、瀬戸焼の情報発信の場であり地域密着の研修施設として、引き続き、積極的に研修生の受け入れを進めてまいります。

### 【文化芸術活動を支援・奨励するための事業】

歴史を重ねてきた第7回美術展や第69回文芸発表会には、部門により応募者数の差異はあるものの、令和2年度も多くの方からご応募いただき、関心の高さが伺えました。今後もより多くの皆様からご応募いただけるよう取り組んでまいります。

### 【発表する機会を提供する事業】

市民の文化芸術活動を促進するために、瀬戸市文化協会と連携して行う「文化の祭典」については、5月・6月開催予定でしたが中止となったため、その代替事業を11月に開催しました。

また、ふれあい芸術展では、コロナ禍においても、それぞれ元気に過ごしている喜びを表現した作品を28団体・22個人による作品を展示することができ、来館者に楽しんで鑑賞いただける機会を提供いたしました。

### 【将棋文化支援事業】

瀬戸将棋文化振興協会の事務局として、将棋を通じた伝統文化の継承や知識の普及向上を図るとともに地元棋士の応援活動として、パブリックビューイングの開催やお祝い花火打上を行いました。

## 3. 文化財に関する調査・研究及び情報提供を行う事業（公益目的事業3）

瀬戸は平安後期から現代にかけて1000年余の歴史を持つ、国内を代表する陶磁器産地であり、その歴史は我が国の窯業史にとって重要な位置を占めると同時に、郷土の歴史にとっても重要な産業史であるといえます。

本市の最大の特徴である窯業史についての調査、資料収集、資料整理、研究を通して、情報並びに学習活動の機会の提供を行いました。

また、市内で唯一の埋蔵文化財調査機関として、記録保存のための調査や学術調査を実施し、資料の保存や公開を行いました。

### 【埋蔵文化財の発掘調査及び資料の整理・保管、調査結果・研究成果の情報提供を行う事業】

当財団の使命から、文化芸術活動の振興とともに文化財保護活動は、やきものを基軸とした一体的な事業展開が求められております。そのうち文化財保護活動では、調査・研究・保存・活用といった点において、さまざまな角度から成果を明らかにし、展示・公開など情報提供に取り組んでまいりました。

発掘、確認調査では、市内遺跡である幡山遺跡を始め5か所を調査し、貴重な資料が得られるとともに、今後、出土品の整理を進め、成果報告書の作成とともに、保存・活用に繋げてまいります。

### 【窯業史や文化財の調査・研究、資料の収集・整理を行い、成果の情報提供を行う事業】

瀬戸焼を中心とした文化財や窯業史に関して情報提供することにより、窯業史研究の発展に資するとともに、郷土の文化財や歴史への興味を喚起し、知識教養を深めるため、瀬戸焼データベースの構築や研究紀要の発刊を行いました。

### 【文化財に関する学習活動の機会を提供する事業】

文化財に関する学習活動では、窯業史に関する講演会や瀬戸蔵ミュージアム等における企画展示、文化財・史跡の見学会などを通じて、郷土の歴史に関心を持ち次世代に伝える文化財思想の普及に努めたほか、小学校などに講師を派遣し、文化財や歴史についての理解を深める学習機会の提供に努めました。

#### 4. 公益目的事業の推進に資するために行う事業（収益事業1）

瀬戸市から管理運営を受託している文化センターの各施設について、空き時間の有効利用を図り、利用促進に繋げることを目的として、公益目的事業以外に貸与しました。

貸与実績の主な内容については、市役所等官公庁及び関係機関が、総会・大会・会議・全市的な催し物などに利用される場合のほか、民間企業並びに団体による健康診断業務・各種相談業務・セミナー・研修会・勉強会・会議など幅広く利用していただいております。

中心市街地からも近く駐車場も完備しており、施設利用には適していることから、例年、同程度の利用実績がありますが、今年度は、文化ホールの耐震工事や新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休館で利用は減少しています。

今後も、効率的な施設の維持管理に努め、利用促進を図ってまいります。

※ 当財団が業務上関係する瀬戸市文化センター（瀬戸市美術館・文化交流館）及び瀬戸市新世紀工芸館、瀬戸染付工芸館、瀬戸蔵ミュージアム、瀬戸信用金庫アートギャラリーは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、令和2年3月5日（瀬戸信用金庫アートギャラリーは3月5日）から、5月31日まで臨時休館をいたしました。

## Ⅱ. 事業説明及び事業実績

### 1. 文化施設を活用して、市民が文化芸術に触れる機会と場を提供する事業

#### (公益目的事業1)

#### (1) 舞台鑑賞の機会を提供する事業（主催・共催公演事業）

##### ① 文化ホール公演事業

内容：文化センター文化ホールを会場とし、各ジャンルや幅広い年齢層に対応した鑑賞型ホール事業を開催しました。

#### (ア) 主催公演

事業名	開催日	入場料	入場者数
木嶋真優 ヴァイオリンリサイタル	7/19	—	中止
特撰東西落語名人会 桂文珍・春風亭小朝	8/23	—	中止
スギテツ&溝口肇コンサート	1/17	—	中止
ソーシャルディスタンシング・ステージ June 【弦楽四重奏】	6/27	1,000 円	95 人 (定員100人)
ソーシャルディスタンシング・ステージ July 【ジャズ】	7/31	1,000 円	63 人 (定員150人)
ソーシャルディスタンシング・ステージ August 【ピアノ/ヴァイオリン】	8/29	1,000 円	100 人 (定員200人)
JazzJuzz つなぎ vol.5	9/22	1,000 円	118 人 (定員150人)
ソーシャルディスタンシング・ステージ November 【ピアノ/弦楽】	11/23	1,000 円	168 人 (定員250人)
ソーシャルディスタンシング・ステージ December 6人の第九【ピアノ/声楽】	12/6	1,000 円	296 人 (定員300人)
JazzJuzz つなぎ vol.6	2/14	1,000 円	129 人 (定員250人)
いいもんせともんコンサート ホルンのおしごと	3/13	一般 2,000 円 4歳以上高校生以下 500 円	161 人 (定員400人)



(イ) 共催公演

事業名	開催日	入場料	入場者数
愛知県立芸術大学管弦楽団 瀬戸市公演	6/27	—	中止

② 音楽鑑賞・音楽活動普及公演事業

内容： 文化ホールのロビーや美術館等を活用し、演者と対話できる距離間で上質なクラシック音楽やジャズ音楽を気軽に楽しむ機会を提供しました。

事業名	開催日	入場料	入場者数
陶壁クラシック 2020 夏	6/28	—	中止

③ 舞台芸術普及及び体験型事業

内容： 舞台芸術に関心を持つきっかけづくりとして、舞台芸術に関する講座やワークショップを開催しました。さらに、動画配信サービスを活用することにより、今まで関心の薄かった若年層にも文化芸術に興味を持ってもらう機会を提供しました。

事業名	開催日	入場料	入場者数
文化ホールバックステージ見学ツアー	8/29	—	中止
YouTube チャンネル 陶壁クラシックちゃんねる開設	4/26	—	2,706回視聴 (4/17時点)
JazzJazz つなぎ vol.5 関連講座 First Jazz Class 初めてのジャズの嗜み	9/22	無料	15人
コンサートピアノ演奏体験	8/22 8/23	無料	92人
ユネスコ無形文化遺産・国指定重要無形文化財「組踊」 特別鑑賞会	1/31	無料	中止
JazzJazz つなぎ vol.6 関連講座 First Jazz Class 初めてのジャズの嗜み	2/7	無料	20人
JazzJazz つなぎ vol.6 関連講座 For The Next Generation Jazz Class U30 知っておきたいジャズの楽しみ方	2/7	無料	15人
いいもんせともんコンサート関連事業 木管五重奏アンサンブルグループを作ってみよう	2/20	無料	8人

(2) 美術鑑賞の機会を提供する事業（企画展開催）

① 美術作品の展示を行う事業（瀬戸市美術館企画展）

内容： 美術館企画展事業として、特別企画展・特別展・企画展を開催しました。

事業名	開催期間	入館料	入場者数
収蔵名品展	6/1～ 7/26	一般 500円 高大生 300円	461人

事業名	開催期間	入館料	入場者数
せとものフェスタ2020 瀬戸市美術館特別展 第3回瀬戸・藤四郎トリエンナーレグラン プリ受賞者展 「塩谷良太展－かたちに、かたちのないもの－」	8/1～9/27	一般 500円 高大生 300円	1,314人
せとものフェスタ2020 瀬戸市美術館特別展 「加藤華仙－その生涯と創作－」	8/1～9/27	一般 500円 高大生 300円	同時開催
瀬戸国際セラミック&ガラスアート交流 プログラム 「2019-2020 招聘作家作品展」 ※本展は、新型コロナウイルスの影響で、 会期中で中止された、2/29～3/22の展覧 会と同内容です。	8/1～9/27	一般 500円 高大生 300円	同時開催

事業名	開催期間	入館料	入場者数
瀬戸市制施行91周年記念 磁祖加藤民吉生誕250年プレ事業 瀬戸市美術館特別企画展 「初期瀬戸染付の謎」	10/3～ 11/29	一般 500円 高大生 300円	2,110人
瀬戸市制施行91周年記念 瀬戸市美術館特別展 「堀尾一郎 絵の旅・祈りの旅展」	10/3～ 11/29	一般 500円 高大生 300円	同時開催

※令和2年3月5日～5月31日まで新型コロナウイルス感染症観戦拡大の影響により  
臨時休館

※令和2年11月30日～令和3年4月16日まで外壁耐震工事のため臨時休館

【関連事業】

(ア) 展覧会ワンポイントレクチャー（初期瀬戸染付の謎）

会場 文化センター文化交流館 31 会議室

日時 10月4日（日）午後1時～

講師 美術館館長 服部文孝

参加者数 9人

(イ) 初期瀬戸染付についての鼎談

会場 文化センター文化交流館 22 会議室

日時 10月10日（土）午後1時30分～

講師 仲野泰裕氏（元愛知県陶磁美術館副館長）、

前田 博氏（尾張古陶磁研究家）

服部文孝（瀬戸市美術館館長）

参加者数 30人

(ウ) ワンポイントレクチャー（堀尾一郎 絵の旅・祈りの旅展）

会場 文化センター文化交流館 31 会議室

日時 10月4日（日）午後2時～

講師 堀尾一郎氏

参加者数 41人

(エ) 北川民次アトリエ公開

会場 北川民次アトリエ

日時 11月7日（土）・8日（日）午前10時～午後3時

参加者数 131人

(オ) ガラス絵ワークショップ

会場 文化センター文化交流館 22 会議室

日時 11月15日（日）午前10時～、午後2時～

講師 堀尾一郎氏

参加者数 19人

（ ）内は前年度

瀬戸市美術館	年間開館日数	220 日 (281 日)	年間入館者数	3,885 人 (13,723 人)
--------	--------	------------------	--------	-----------------------

- ② 陶芸・ガラス工芸作品に特化した展示を行う事業（新世紀工芸館企画展）  
 内容： 展示棟では、陶芸及びガラス工芸分野等の作家を中心に、交流棟では、  
 季節ごとのテーマを設けた企画展を開催しました。

(ア) 展示棟企画展

事業名	開催期間	入場者数
ガラス企画展「i×i 後藤晃太・塩谷智子」	3/21～6/21	中止
陶芸企画展「SHIGARAKIの作家展」 －relocation after the residency－	6/27～9/20	1,441人
アーティスト・イン・レジデンス展	9/26～11/1	582人
増原 嘉央理 高橋 奈己 展 －表現の形－	11/7～1/24	1,019人
第17期研修生修了作品展 第18期研修生作品展	1/30～3/14	1,099人

※3月5日～5月31日まで新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により臨時休館

(イ) 交流棟企画展

事業名	開催期間	入場者数
春・爛漫 陶とガラス展 同時開催 端午の節句展	4/1～5/31	中止
夏の陶とガラス展	6/6～8/23	1,300人
酒器展	8/29～11/8	1,475人
冬のおくりもの展	11/14～1/17	991人
雛と春を彩る作品展	1/23～3/14	1,526人
「Base in SETO,TAJIMI,TOKONAME after graduate at NUA-Ceramic & Glass Artist Exhibition-」	3/27～6/13	開催中

※3月5日～5月31日まで新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により臨時休館

(ウ) 交流棟2階貸ギャラリー

事業名	開催期間	入場者数
「瀬戸原型陶彫会作品展」	3/19～3/24	96人

③ 歴史的工芸品の展示を行う事業（瀬戸染付工芸館企画展）

事業名	会場	開催期間	入場者数
開館 20 周年記念－パネルでたどる 20 年－	本館 2 階	4/1～12/27	延期
		6/1～12/27	2,620 人
開館 20 周年記念 瀬戸染付工芸館のあゆみ－修了生作品展－	本館 2 階 交流館 2 階	5/16～7/20	延期
		6/3～8/10	803 人
瀬戸染付工芸館修了生作品展	本館 2 階	8/12～3/31	3,717 人
開館 20 周年記念 瀬戸染付－厳選の逸品－	交流館 2 階	8/12～11/30	1,574 人
開館 20 周年記念 古陶園竹鳳窯展	交流館 2 階	12/2～3/1	1,304 人
企画展 瀬戸市収蔵品展	交流館 2 階	3/3～5/31	開催中
開館 20 周年記念 研修修了作家 井上 匠 染付の器展	本館 1 階	4/29～5/25	延期
		6/1～7/6	379 人
開館 20 周年記念 研修修了作家 小枝真人 作陶展	本館 1 階	7/8～8/3	339 人
開館 20 周年記念 研修修了作家 松田由岐子 作陶展	本館 1 階	8/5～9/7	347 人
開館 20 周年記念 研修修了作家 小形こず恵 作陶展	本館 1 階	9/9～10/5	522 人
開館 20 周年記念 研修修了作家 明石朋美 作陶展	本館 1 階	10/7～10/26	351 人
瀬戸染付工芸館研修生作品展 ※令和 2 年 3 月開催予定の代替開催	本館 1 階	10/28～11/9	135 人
新進染付作家作品展	本館 1 階	11/11～12/27	549 人
開館 20 周年記念 研修修了作家 大谷昌弘 作品展	本館 1 階	1/6～1/25	231 人
開館 20 周年記念 研修修了作家 石川理恵 作陶展	本館 1 階	1/27～2/15	495 人
開館 20 周年記念 研修修了作家 山下郁恵 作陶展	本館 1 階	2/17～3/8	505 人

開館 20 周年記念 研修修了作家 大島梓路 作陶展	本館 1 階	3/10～3/22	263 人
-------------------------------	--------	-----------	-------

※ 3 月 5 日～5 月 3 1 日まで新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により臨時休館

④ 地域の美術作品の展示を行う事業（瀬戸信用金庫アートギャラリー）

内容： 瀬戸市にゆかりのある作家等の企画展示や瀬戸信用金庫が所蔵する北川民次及び瀬戸陶芸協会会員の作品展示を行いました。

事業名	開催期間	入場者数
瀬戸信用金庫アートギャラリー企画展 加藤昭男彫刻展－粘土の魂－	4/4～5/10	延期
	8/8～9/27	362 人
瀬戸信用金庫アートギャラリー企画展 瀬戸染付工芸館修了生の今－伝統からその先へ－	5/16～6/21	延期
	6/20～8/2	300 人
瀬戸信用金庫アートギャラリー企画展 堀尾一郎硝子絵展－世界の旅－	10/3～11/8	437 人
瀬戸信用金庫アートギャラリー企画展 北川民次と瀬戸信用金庫カレンダー展	11/14～12/27	291 人
瀬戸信用金庫アートギャラリー企画展 写真展 北川民次の表情－伊里一彦氏撮影による－	1/9～2/14	330 人
瀬戸信用金庫アートギャラリー企画展 瀬戸国際セラミック&ガラスアート交流プログラム 2020－2021 招聘作家作品展	2/20～3/28	232 人

※ 3 月 6 日～5 月 3 1 日まで新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により臨時休館

(3) 体験活動の機会を提供する事業

① 体験活動を行う事業

内容： やきものの文化や技術を伝えるため、各種体験教室等を開催しました。また、次世代を担う子どもたちを対象とした文化芸術を体験する機会を提供するため、文化団体と連携して体験講座を開催しました。

(ア) 新世紀工芸館体験事業

事業名	開催日	参加者数
陶芸体験	8/16～3/7 原則第1・第3日曜日に開催 ※7月開催分まで中止	145 人
ガラス体験	7/26・8/30・9/27・10/25・11/22・ 12/13・2/28・3/21 ※6月開催分まで中止	91 人

(イ) 瀬戸染付工芸館体験事業

事業名	開催日(期間)	参加者数
瀬戸染付体験教室	7/23・8/22・9/26・10/24・11/14・ 12/4、5・1/23・2/20・3/20 ※6月開催分まで中止	163人
常設染付体験	6月～3月まで ※5月開催分まで中止	308人

(ウ) 文化体験講座

事業名	開催日(期間)	参加者数
夏休み期間中の子供向け講座(日本舞踊、マジック、書道、箏、尺八、押し花、津軽三味線、茶道、陶芸、フラダンス、彫刻、文芸、太鼓、紙粘土)	8月	162人

(4) 国際性豊かな芸術文化に触れる機会を提供する事業(国際セラミック&ガラス交流プログラム事業)

内容：今年度は、大阪府在住のガラス作家 福西毅氏を招聘し、中国北京市在住のガラス作家 杜 蒙氏はオンラインで参加しました。関連イベントとして両氏の公開制作を予定しておりましたが、緊急事態宣言延長のため開催できず、代わりに作家の制作の様子を映像に収め、YouTube で公開しました。(Seto AiR - YouTube) そして両氏が、レジデンス期間中に制作した作品の展覧会を、瀬戸信用金庫アートギャラリーにおいて開催しました。また、コロナ禍のアーティスト・イン・レジデンス(AIR)事業をテーマにした研究会と、文化庁主催の令和2年度「アーティスト・イン・レジデンス事業」オンライン・シンポジウムにも参加しました。

(ア) アーティスト・イン・レジデンス

招聘作家	分野	国名	滞在期間
杜 蒙(ドウ・モン)	ガラス	中国	12/28～2/2
福西 毅	ガラス	日本	1/11～2/22

(イ) スライドレクチャー・ワークショップ

招聘作家	開催日	開催場所	参加者数
宮地 雅行(展示技術者)	9/17～9/19	新世紀工芸館工房棟	9人
木曾 志真雄(陶芸家)	2/3	新世紀工芸館工房棟	9人
吉川 正道(陶芸家)	2/11	新世紀工芸館工房棟	8人

杜 蒙 / 福西 毅	2/20	新世紀工芸館工房棟	7人
高橋 秀治 (岐阜県現代陶芸美術館)	3/5	新世紀工芸館工房棟	8人

(ウ) 招聘作家作品展

事業名	開催期間	開催場所	入場者数
瀬戸国際セラミック&ガラスアート交流プログラム2020-2021 招聘作家作品展	2/20~3/28	瀬戸信用金庫 アートギャラリー	232人

(エ) 研究会・シンポジウム

- AIR研究会  
開催日：3月7日(土)、8日(日)  
場 所：滋賀県立陶芸の森  
内 容：研究会(情報や課題の共有)、研究者による報告等
- 令和2年度「アーティスト・イン・レジデンス事業」オンライン・シ  
ジウム  
開催日：3月18日(木) Zoom開催  
内 容：トークショー、意見交換会

(5) 文化芸術に触れる場の提供を行う事業(文化施設運営事業)

内容： 瀬戸市から指定管理者として受託した文化施設を、市民の文化活動の場として提供しました。

① 市民文化に触れる場の提供(地域文化広場運営事業)

(文化ホール)

会 場	令和2年度		前年度		対前年度比(%)	
	件数(件) A	人数(人) A'	件数(件) B	人数(人) B'	件 数 A ÷ B	人 数 A' ÷ B'
ホール	108	18,032	61	19,093	177.0	94.4
リハーサル室(1)	128	3,081	35	1,401	365.7	219.9
リハーサル室(2)	29	298	23	298	126.1	100.0
リハーサル室(3)	16	148	13	124	123.1	119.4
小計	281	21,559	132	20,916	212.9 +149件	103.1 +643人



(文化交流館)

会 場	令和2年度		前年度		対前年度比 (%)	
	件数 (件)	人数 (人)	件数(件)	人数 (人)	件数	人数
11会議室	176	5,130	355	14,097	49.6	36.4
12会議室	177	5,501	239	13,618	74.1	40.4
13会議室	249	6,067	465	12,322	53.5	49.2
21会議室	154	4,188	164	9,107	93.9	46.0
22会議室	198	7,910	238	17,353	83.2	45.6
31会議室	152	10,046	212	22,500	71.7	44.6
32会議室	174	2,656	316	4,740	55.1	56.0
ギャラリー	114	6,242	180	15,140	63.3	41.2
和 室	61	1,574	152	4,796	40.1	32.8
茶 室	0	0	93	1,899	-	-
小計	1,455	49,314	2,414	115,572	60.3 -959 件	42.7 -66,258 人
総合計	1,736	70,873	2,546	136,488	68.2 -810 件	51.9 -65,615 人

②工芸文化に触れる場の提供 (新世紀工芸館運営事業)

展 覧 会 名	開催期間	開催場所	入場者数
「瀬戸原型陶彫会作品展」	3/19～3/24	交流棟2階	96人

2. 市民の主体的な文化芸術活動を支援し奨励する事業 (公益目的事業2)

(1) 人材育成の機会を提供する事業 (人材育成事業)

内容： 新世紀工芸館は陶芸・ガラス工芸の創作活動の場として、また、瀬戸染付工芸館は瀬戸染付の技術の保存・伝承を図る場として、技術・技能の習得を目指した研修事業を行いました。

(ア) 工芸分野における人材育成を行う事業 (新世紀工芸館)

コース	17期生	18期生	研修生計
陶芸コース	3人	3人	6人
ガラス工芸コース	3人	0人	3人

展 覧 会 名	開催期間	開催場所	入館者数
瀬戸市新世紀工芸館 第17期研修生 修了作品展・第18期研修生作品展 【再掲】	1/30～3/14	新世紀工芸館 展示棟	1,099人

(イ) 瀬戸染付技術における人材育成を行う事業（瀬戸染付工芸館）

コース	元年度入館生	2年度入館生	研修生計
染付技術	1人	2人	3人

展 覧 会 名	開催期間	開催場所	入館者数
瀬戸染付工芸館修了生作品展【再掲】	8/12～3/31	染付工芸館 本館2階	3,717人
新進染付作家作品展【再掲】	11/11～12/27	染付工芸館 本館1階	549人

(2) 文化芸術活動を支援・奨励するための事業

① コンクール（美術展・文芸発表会）

(ア) 美術作品のコンクールを行う事業（第73回瀬戸市美術展）

内容： 日本画、洋画、彫刻、陶芸、書道、写真、工芸美術の7部門で作品を広く公募し、優れた作品を表彰するとともに、入選作品は展示を行いました。

部 門	応募点数（内入選数）		美術展開催期間・場所
	令和2年度	前年度	
日 本 画	19(19)	19(17)	10/21(水)～25(日) 入場者数1,718人 (前年度1,816人)  文化センター文化交流館
洋 画	117(100)	115(100)	
彫 刻	15(15)	14(13)	
陶 芸	38(32)	32(32)	
書 道	25(25)	19(19)	
写 真	116(106)	129(102)	
工芸美術	34(33)	30(30)	
合 計	364(330)	358(313)	

(イ) 文芸作品のコンクールを行う事業 (第69回瀬戸市文芸発表会)

内容： 俳句・短歌・川柳・詩の部門で作品を公募し、優れた文芸作品は表彰するとともに、文芸誌「窯火」を発刊し作品を紹介しました。また、講師を招き記念講演会を開催しました。

( ) 内は前年度

部 門	選者選句	自選句	開催日・会場
俳 句	≪一般の部≫ 応募句数 462 句 (468 句) 特選 12 句、入選 120 句 ≪小中学生の部≫ 応募句数 155 句 (674 句) 特選 12 句、入選 40 句	応募句数 51 句 (47 句)	11/8(日) 表彰式  記念講演会 なかはられいこ氏
短 歌	≪一般の部≫ 応募歌数 314 首 (338 首) 特選 6 首、入選 44 首 ≪小中学生の部≫ 応募歌数 113 首 (79 首) 特選 6 首、入選 16 首	応募歌数 33 首 (33 首)	参加者数 約 80 人  文化センター 文化交流館
川 柳	≪一般の部≫ 応募句数 436 句 (491 句) 特選 6 句、入選 44 句 ≪小中学生の部≫ 応募句数 160 句 (426 句) 特選 6 句、入選 16 句	応募句数 37 句 (40 句)	
詩	≪一般の部≫ 応募詩数 31 編 (34 編) 特選 2 編、入選 4 編 ≪小中学生の部≫ 応募詩数 42 編 (8 編) 特選 2 編、入選 5 編	応募詩数 9 編 (6 編)	

【応募総数】 選者選 1,713 点 ( 特選 52 点 入選 289 点)  
 自選 130 点

(3) 発表する機会を提供する事業（市民文化活動支援事業）

(ア) 舞台における文化活動の発表を行う事業（文化の祭典）

内容：市民の文化芸術活動を促進するための事業を実施するため、5月・6月開催予定であった「文化の祭典」が中止となったため、その代替事業を11月に開催しました。

部 門	開催日	会場	参加人数
文化の祭典「詩吟・民謡・和太鼓」	5/24(日)	文化センター文化ホール	中止
文化の祭典「邦楽」	5/31(日)	文化センター文化ホール	中止
文化の祭典「洋楽Ⅱ」	6/14(日)	文化センター文化ホール	中止
文化の祭典「洋楽Ⅰ」	6/21(日)	文化センター文化ホール	中止
文化の祭典 遊 「洋」と「和」 ※中止事業の代替開催	11/7(土) 11/8(日)	文化センター文化ホール	730人

(イ) 吟行会を通して文芸の発表を行う事業（ふれあい吟行会）

内容：俳句・短歌の題材を求めて、活動に勤しむ仲間同士が身近な景勝地を訪れ、吟行会を開催しました。

部 門	開催日	開催場所	参加人数
ふれあい吟行会	6/4(木)	上野公園（三重県伊賀市）	延期
ふれあい吟行会 ※近隣地へ変更し開催	11/4(水)	東谷山 尾張戸神社	21人

(ウ) 美術、いけばな、茶道における文化活動の発表を行う事業

内容：毎年、日本画・洋画・彫刻・陶芸・写真・工芸美術の部門において、市内で活躍する作家と市内文化団体とのコラボレーションによる芸術展等を開催しておりますが、令和2年度は、ふれあい芸術展のみの開催となりました。

部 門	開催日	開催場所	入場者数
書道展	5/15～17	文化センター 文化交流館	中止
市民茶会	5/17	文化センター 文化交流館	中止
ふれあい芸術展	10/28～11/1	文化センター 文化交流館	700人
ふれあい茶会	10/31～11/1	文化センター 文化交流館	中止
新春いけばな展	1/23・24	文化センター 文化交流館	中止
新春茶会	1/23・24	文化センター 文化交流館	中止

#### (4) 将棋文化支援事業

瀬戸将棋文化振興協会の事務局として、将棋を通じた伝統文化の継承や知識の普及向上を図るとともに地元棋士の応援活動を行った。

- ・パブリックビューイングの開催

- 第91期ヒューリック杯棋聖戦

- 第3局 7月 9日 (木) 瀬戸蔵つばきホール

- 第4局 7月16日 (木) 文化センター文化ホール

- ・お祝い花火打上 (藤井二冠お祝い) 10月1日 (木) 瀬戸信用金庫グラウンド

### 3. 文化財に関する調査・研究及び情報提供を行う事業 (公益目的事業3)

#### (1) 埋蔵文化財の発掘調査及び資料の整理・保管、調査結果・研究成果の情報提供を行う事業 (埋蔵文化財調査事業)

内容：埋蔵文化財を適切に保護し活用するために、発掘調査や重要遺跡の保存のための確認調査を行い、その考古学的な調査結果・研究成果を報告書にまとめて公開するとともに、出土遺物を適切に整理・保管し博物館展示等に活用できるようにしました。

#### (ア) 埋蔵文化財の保護・保存のため、発掘調査や確認調査を行う事業 (発掘調査)

	市内遺跡発掘調査	市内遺跡発掘調査
遺跡名	窯元 B 窯跡 (確認調査)	幡山遺跡 (発掘調査)
所在地	瀬戸市窯元町	瀬戸市東菱野町
調査面積	50 m <sup>2</sup>	115 m <sup>2</sup>
遺跡の性格	窯跡	散布地
遺跡の時期	江戸時代	古墳時代～近世
主な遺構	窯体・物原	遺物包含層
主な遺物	施釉陶器	土器・山茶碗

	市内遺跡発掘調査	市内遺跡発掘調査
遺跡名	桂蔵窯跡(確認調査)	内田町遺跡(確認調査)
所在地	瀬戸市西茨町	瀬戸市内田町
調査面積	30 m <sup>2</sup>	97.4 m <sup>2</sup>
遺跡の性格	窯跡	散布地
遺跡の時期	江戸時代	縄文時代・古墳時代・中近世
主な遺構	窯体	溝・ピット・遺物包含層
主な遺物	施釉陶器	土器・山茶碗・施釉陶器

	O-G-15号窯跡確認調査
遺跡名	折戸(O)-G-15号窯跡
所在地	日進市浅田平子
調査面積	12 m <sup>2</sup>
遺跡の性格	窯跡
遺跡の時期	鎌倉時代
主な遺構	灰原
主な遺物	山茶碗

(イ) 出土品の整理、発掘調査資料の整理を行う事業（整理作業）

遺跡名	所在地	発掘年度
穴山窯跡	瀬戸市山路町	平成30年度
O-G-15号窯跡	日進市浅田平子	令和2年度

(2) 窯業史や文化財の調査・研究、資料の収集・整理を行い、成果の情報提供を行う事業

(ア) 瀬戸焼データベースの作成・情報提供を行う事業

内容： 全国の自治体、財団等が発刊した受領図書から瀬戸焼に関する情報を抽出し、全国から出土した瀬戸焼の種類や時代ごとに抽出可能

なデータベースの構築、成果を公表するもので、令和2年度は再構築作業を行いました。

・新規図書登録 1,223件

(イ) 瀬戸焼を中心とした文化財に関する情報提供を行う事業

内容：「埋蔵文化財センター研究紀要 第23輯」を刊行しました。

(3) 文化財に関する学習活動の機会を提供する事業（普及啓発事業）

(ア) 瀬戸焼を中心とした窯業史についての講演会を開催する事業（歴史講演会）

演題：都市江戸における磁器需要と瀬戸・美濃窯－磁器の販売戦略－

講師：堀内秀樹（東京大学埋蔵文化財調査室）

日時：10月31日午後1時30分～午後3時

場所：愛知県陶磁美術館 本館地下講堂

参加人数：約60人

(イ) 瀬戸焼をテーマとした企画展示を行う事業（文化財企画展）

展覧会名	開催期間	開催場所	入館料	入館者数
磁器生産の成立と展開－江戸後期の瀬戸窯と美濃窯－	10/17～ 12/6	愛知県陶磁美術館 館ギャラリー	無料	2,924人

【関連事業】

展示説明会

場所：愛知県陶磁美術館 本館展示説明室

日時：10月31日・11月15日

参加者数：合計53人

(ウ) 瀬戸焼の歴史や民俗、産業史に関する常設展示を行う事業（瀬戸蔵ミュージアム常設展示）

内容：瀬戸の伝統産業であるやきものづくりを核に、瀬戸の特徴的な建物のジオラマ復元や窯業関連道具の展示及び、瀬戸焼の歩みなどを紹介する常設展示の一部入れ替えを行いました。

(エ) 歴史・発掘調査成果等の企画展示を行う事業（文化財企画展）

展 示	開催期間	開催場所
新出土品展 瀬戸市指定史跡 本地大塚古墳－矢田川流域の古墳と埴輪－	6/6～9/13	瀬戸蔵ミュージアム (全体入館者数 5,295人)
愛知県陶磁器技能士会展	6/1～7/26	瀬戸蔵ミュージアム (全体入館者数 2,679人)
土の詩 －愛陶工陶芸部会展－	8/1～9/27	瀬戸蔵ミュージアム (全体入館者数 3,505人)

新収蔵品展 2018-2019	9/26～ 12/27	瀬戸蔵ミュージアム (全体入館者数 7,303 人)
瀬戸の風景 昔と今	10/3～2/21	瀬戸蔵ミュージアム (全体入館者数 10,103 人)
SAMS 陶展	2/27～4/18	瀬戸蔵ミュージアム (全体入館者数 9,315 人)
瀬戸の青磁ーその始まりと展開ー	1/16～4/18	瀬戸蔵ミュージアム (全体入館者数 12,138 人)

(オ) 文化財、史跡の見学会等を行う事業（文化財見学会）

事業名	開催日	内容	参加者
広久手窯跡群現地説明会	8/30(日)	広久手 C3 窯跡発掘調査現場の見学	31 人
小長曾・瓶子窯跡をめぐる	10/3(土)	国指定史跡である 2 か所の窯跡の見学	24 人
江戸時代のやきものづくり	11/15(日)	愛知県陶磁美術館企画展の説明と復元窯による焼成実験の見学	32 人
秋の馬ヶ城 - 歴史と自然をめぐる -	11/28(土)	馬ヶ城地区の窯跡や自然、浄水場の見学	39 人
桂蔵窯跡現地説明会	3/21 (日)	江戸時代後期に築かれた窯跡の確認調査の概要を説明	40 人

(カ) 学校や市民の学習会に講師等を派遣する事業（講師等の派遣）

依頼者	派遣日	内容	対象
西陵小学校	7/1(水)	瀬戸市の出土品に関する体験学習等	6 年生 138 人
陶原小学校	7/21(火)	6 年生社会科の歴史学習・総合的な学習と地域学習	6 年生 105 人
品野台小学校	9/4(金)	上品野蟹川遺跡出土品に関する体験学習等	6 年生 13 人

4. 公益目的事業の推進に資するために行う事業（収益事業 1）

当財団が管理運営している文化センターの利用促進や空き時間の有効利用を図るため、公益目的事業以外に利用する個人や団体などに貸与しました。



### Ⅲ. 庶務の概要

#### (1) 理事会

開催年月日	議事事項	会議の結果	会場
第1回 令和2年 5月11日	(1) 令和元年度事業報告に関する件 (2) 令和元年度決算報告に関する件 (3) 第9回定時評議員会招集に関する件	原案どおり 可決 " " 了承	書面審議
第2回 令和2年 6月18日	(1) 公益財団法人瀬戸市文化振興財団の理事長の選定に関する件 (2) 公益財団法人瀬戸市文化振興財団の副理事長の選定に関する件 (3) 公益財団法人瀬戸市文化振興財団の常務理事の選定に関する件	原案どおり 可決 " " 了承	書面審議
第3回 令和3年 2月22日	(1) 令和3年度事業計画書に関する件 (2) 令和3年度収支予算書に関する件 (3) 令和3年度資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類に関する件	原案どおり 可決 " " 了承	文化センター 文化交流館 22会議室
第4回 令和3年 3月22日	(1) 公益財団法人瀬戸市文化振興財団の常務理事の選定に関する件 (2) 公益財団法人瀬戸市文化振興財団の重要な使用人の選任に関する件	原案どおり 可決 " 了承	書面審議

## (2) 評議員会

開催年月日	議事事項	会議の結果	会場
第9回定時 令和2年 6月18日	(1) 令和元年度事業報告に関する件 (2) 令和元年度決算報告に関する件 (3) 評議員の選任に関する件 (4) 理事の選任に関する件 (5) 監事の選任に関する件	原案どおり 可決 " " " "	文化センター 文化交流館 22 会議室
第1回臨時 令和3年 3月22日	(1) 令和3年度事業計画に関する件 (2) 令和3年度収支予算書に関する件 (3) 令和3年度資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類に関する件 (4) 理事の選任に関する件	原案どおり 可決 " " "	瀬戸市役所 4階庁議室

## (3) 監査会

実施年月日	監査事項	監査結果	会場
令和2年 5月7日	令和元年度事業報告及び決算報告	適法適正 処理	文化センター 文化交流館 2階 応接室

## (4) 役員

役職名	氏名	任期
理事長	伊藤 保徳	令和2年6月21日から令和4年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
副理事長	亀谷 政代司	令和2年6月21日から令和4年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
常務理事	加藤 慎也	令和2年6月21日から令和4年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
理事	横山 彰	令和2年6月21日から令和4年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
理事	水野 和郎	令和2年6月21日から令和4年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで

理 事	二宮 あづさ	令和2年6月21日から令和4年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
理 事	太田 公典	令和2年6月21日から令和4年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
理 事	加藤 唐三郎	令和2年6月21日から令和4年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
理 事	加藤 和守	令和2年6月21日から令和4年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
理 事	若杉 福雄	令和2年6月21日から令和4年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
監 事	小澤 修	令和2年6月21日から令和6年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
監 事	戸田 仁司	令和2年6月21日から令和6年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで

(5) 評議員

役職名	氏 名	任 期
評議員	青山 一郎	令和2年6月18日から令和6年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
評議員	加藤 創子	令和2年6月18日から令和6年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
評議員	長江 重和	令和2年6月18日から令和6年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
評議員	杉山 仁朗	令和2年6月18日から令和6年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
評議員	鈴木 政成	令和2年6月18日から令和6年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
評議員	田中 博晶	令和2年6月18日から令和6年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
評議員	蟹井 富貴	令和2年6月18日から令和6年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
評議員	安田 文吉	令和2年6月18日から令和6年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
評議員	加藤 令吉	令和2年6月18日から令和6年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
評議員	涌井 康宣	令和2年6月18日から令和6年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで

(6) 職員数

区 分	事務局		
	業務課	埋蔵文化財センター	合計
事務局長	1人(派)		1人
課長・所長	1人(派)	1人	2人
課長補佐・副所長		1人	1人
主査・主任		2人	2人
主事	2人(派1)		2人
嘱託	4人		4人
臨時(常勤)	2人	1人	3人
合計	10人	5人	15人

(派)は瀬戸市からの派遣職員

区 分	管理事務所			
	文化センター	新世紀工芸館	瀬戸染付工芸館	合計
管理事務所長	1人	1人(派・兼)	1人(派・兼)	2人
次長				-
嘱託	6人	3人	2人	11人
臨時(常勤)		3人		3人
合計	7人	7人	2人	16人

(派)は瀬戸市からの派遣職員

#### IV. 附属明細書

事業報告に係る重要な事項は全て前節までに記載してあるため、附属明細書として記載する事項はありません。